

## 普及活動情勢報告（令和8年2月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

### 児童が地元の昔野菜の収穫・販売を体験 ～昔野菜食育活動支援～



1月21日、22日に地域おこし協力隊が呼びかけ、四万十町立十和小学校で昔野菜の食育活動（収穫・調理・試食・販売）を行い、4年生8名、昔野菜生産者1名、関係機関等16名が参加しました。

農業改良普及所は、児童に収穫方法を説明し、関係機関とともに収穫した野菜の洗浄を支援しました。

児童は、巨大な昔野菜を協力して収穫し、昔野菜を使った料理を何度もおかわりしていました。また販売では、寒い中、野菜の特徴や調理方法を大きな声でPRし、30分程で終了しました。

農業改良普及所は今後も、関係機関と協力しながら、十和地区での昔野菜の栽培継承、食育活動を支援します。

### 白ネギの良品出荷を目指して ～JA高知県四万十白ネギ研究会出荷検討会～



1月22日、JA高知県四万十白ネギ研究会が出荷検討会を開催し、生産者4名と関係機関職員が参加しました。

農業改良普及所からは「個別に出荷調整して箱詰めまでするので、異物混入には気をつけて」「ネギの残さは腐ると臭いがあるので、処理を適切に」などの指導を行いました。

農家の反応は良く、大きくうなづく姿が見られました。また、「今年は極端に雨が降らず、最後の茎の太りが鈍かったのでL品の割合が低くなりそう」といった声がきかれました。

農業改良普及所は、今後は実証試験を通じた有望品種の検討等を支援します。

### 農福連携の推進 ～四万十ふくふくまつりでの出荷調製作業体験会～



1月31日、四万十町で福祉イベント「四万十ふくふくまつり」が開催され、多くの来場者で賑わいました。

農業改良普及所は、農福連携の取組事例について、農業者や事業所等の紹介と作業の体験会を実施し、ニラのそぐり・計量結束やミョウガのパック詰め作業を大人30名以上、子供25名以上が体験しました。

また、作業体験者のアンケートでは、6割が「農福連携についてより深く知りたい」と回答していました。

農業改良普及所は、今後も継続して農福連携の勉強会や体験会の開催などに取り組んでいきます。

## 県内集落営農法人の取組事例を学ぶ ～集落営農先進地視察研修～



2月4日、佐川町と香美市で先進地視察研修を行い、関係者を含めて19名が参加しました。

農業改良普及所は、視察先との研修内容の調整等のコーディネートを行いました。

(農)トピアとかのからは、NPO法人を核とした多様な組織との連携方法を、(農)ファーム西永野からは、ほ場整備を契機とした農地集積と高収益作物導入による雇用創出などの先進的な取り組みを聞き、参加者は「住民参加型の話聞くことができよかった」、「自分の集落と状況が似通っており、参考にしたい」など、取り組みに関心を寄せていました。

農業改良普及所は、引き続き関係機関と協力して、集落営農組織の活動を支援します。

## 今作を振り返ろう！ ～JA高知県大正シシトウ部会出荷反省会～



2月6日、JA高知県大正シシトウ部会が出荷反省会を開催し、農家8戸が出席しました。

農業改良普及所は、栽培マニュアルを説明し、今年的气温の推移と遮光資材・新品種の試験結果を報告しました。また、商標名「ししまろ」を使用した販売実績と評価について情報提供しました。

参加者からは、「資材が年々高騰しているため、まずは所持している遮光資材を活用して高温対策していきたい」、「自分のほ場に必要なかん水量を見極めて施用していきたい」などの声が聞かれました。

農業改良普及所は、今後もJAと協力し、栽培及び販売面からシシトウの生産振興に取り組んでいきます。